草上明アートワークス

2d Illust Collection

Kusakami Akira Artworks

立ち読み版

Novels Works
3-106

Imouto To Love Ru ! Works
107-162

Pocket Novels Works
163-227

これまでキルタイムで描かれてきた
草上明先生の作品をまとめた電子イラスト集！
小説挿絵で描かれたイラストを中心に、
これまでの雑誌のカラーイラストやキャラ設定なども含めた
大ボリュームの構成になっています！
また、本編は印刷も可能！（PDFファイルで提供の場合のみ）
お好きなシーンを手元において楽しめます！
※本編では、このテキストは掲載されていません

魔法少女は背徳の檻で　淫らなフェアリーテイル　表紙イラスト
[2014年4月]

「うッ、あぁッ……あ……っ、ハァッ、凄いぞ……紗雪にッ、全部吸われて……ハァ……ハァ……」
「お、お父様……ッ、もっと……もっと奥までッ！」
ドクンッ！　ドクンッ！
「く……ッ……はぁ……ぁ……ッ！　可愛いぞ紗雪……ッ、ハァッ、もっともっと注いでやる……ッ！」
赤黒い傘を広げ、まさに吐精を開始せんとする父の肉棒を、娘の柔襞がムチュゥッと吸い上げる。
「はぁ……ンッ！　お父様のッ、お父様の種……ッ、紗雪に全部注いで下さいませッ！」
「出してやるッ！　お前の全部をわしのモノにしてやるぞ……ッ!!」
どくッ！　どくどくどく……ッ！　どくんッ！
「ひあぁッ!?　あふぅンッ！　あぁッ、お父様ぁッ！　感じますッ！　お父様の愛を感じますわぁッ！」
注ぎ込まれる汚液の熱さに魔法少女は陶然として男の背中に腕を絡め、細い腰を淫らにうねらせる。
「あぁぁッ！　はぁッ、お父様ぁぁ……ッ……！」
どくんッ、どくどく……ッ、どくん……ッ！

ズッズッズッズッ！　ズチュズチュッ！
ズチュッ！　ブチュ……ッ！
牡汁と愛液が攪拌されるたびに性臭は濃くなって、交尾に夢中になっている姉弟を包み込み、堕ちていくという甘美な予感に陶酔させる。
（もう無理……ッ！　気持ちイイッ！　こんなオチ■ポに勝てる訳がないよ……ッ！）
「あンッ！　拓斗ッ！　も……イっちゃうッ！　イくッ!?」
血を分けた同士の深い性器結合に酔いながら、魔法少女は遂に紫髪をバサリと大きく跳ねさせ、数百の観客の前でエクスタシーを迎えたのだった。
「うおッ！　うおおおン！　うおおおおおンッ!!」
時を同じくして、弟犬も愛姉の胎内に捩じ込んだペニスから白濁液をぶちまける。
『出るッ！　姉ちゃんの中にッ、ボクの赤ちゃんの種いっぱい出るよッ!!』
どくどくッ！　どくッ……どくどくどく……ッ！
「おおおおおおン……！」
雄叫びと共に、少女の子宮目がけて獣精がこれでもかと放出される。
（あはぁッ！　拓斗の精子ッ！　お腹の中にいっぱい来てるぅッ!!）

二次元ドリームマガジンVol.77　カラー小説イラスト
[2014年6月]

魔法娼女理愛　獣欲に嵌まる母娘　口絵イラスト
〔2013年5月〕

（あっ、ひゃっ、ふっ……んもっ、ら、へ……あひっ、へ……ふぇぇ……）

羞恥と快感によって理性はドロドロに煮溶かされ、身体中が末端から徐々に弛緩してゆく。思考まで呂律が回らなくなった状態で、激しい貧乏ゆすりのように身体中をガクガクと痙攣させた理愛は椅子にもたれかかり、糸の切れた操り人形のようにくずおれた。

「……えっ、ちょ、ちょっと……ぷっ、くくっ、あっははは！　やだぁっ♪」

異状にまず気づいたのは、隣席の女子生徒だった。その笑い声を聞いて、そして股間から脚にかけての生温かい滴りを察知し――ようやく、理愛もそれに気がつく。

「うっ、あ……あぁっ、やっ……あぁぁ……」

――チョロロロロロ……ジョボッ、ジョボボボボボッ、ジョバババババ……

立ち上るアンモニア臭に、自分がおもらししたことを自覚する。けれど止められないくらい全身は弛緩し、尿道口は緩みっぱなしだった。もはや周囲の女性生徒たちは笑いをこらえきれず、声を上げて囃し立て、好き勝手に携帯で写真を撮り続ける。

「やらっ、やらぁ……もうっ、いやっ、やあぁぁ……うぐっ、うぅぅぅ……」

授業中なのに子供のようにオシッコをもらし、泣きじゃくる恥ずかしい姿は瞬く間にクラス内で共有され、男子たちはさらに勃起をいきり立たせていた。

――チョロロッ……ジョロロロロロロロッッ、ジョボボボボボッッ……

「あぐっ、あっ……うっ、うぁぁぁぁ……うっ、ふぅぅぅうっ……」

我慢できず、またももらしてしまった。恥ずかしさも悔しさもあるのに、なぜだろう、ここまでされると仕方ない、もうどうにもならないんだと、諦めのような境地が排泄を許し、理性を緩ませる。こらえにこらえた尿意を吐きだす心地よさが尿道を駆け抜け、生理的欲求を満たす快感は肉悦にすり替わり、全身に甘く蕩ける波を広げていった。

「あおぉぉっっ、んっ、ふぁっっ……はやぁぁぁっ、あぐっ、んぉぉぉっ！」

亀頭を捻じ込んだまま男が腰を引くと、菊皺がニュプニュプと卑猥な擦過音を奏でて引き伸ばされた。肉傘に吸いついて菊粘膜が裏返り、挿入されると肉壺がキュゥゥッと締まってペニスを噛み締める。すでに膣肉と同じくらい蕩けていた腸粘膜は、完全に牡槍を受け入れて快感に溺れ、どこまでも柔軟に開いて、苦痛など欠片もない快感を貪る。

「はふぉぉぉぉっ、おぉほっ、ほぉぉぉ……んぉっ、ふぁぁぁっ……」

「お〜、さっすが理愛ちゃん♪」「初アナルで即おもらしとか、マジでド変態〜」「さっきももらしたのにこの量とか、これからはオムツしといたほうがいいんじゃね？」

二次元ドリームマガジンVol.81　宇宙捜査官ルナ　機械仕掛けの淫獄　イラスト
[2015年2月]

「ひぐっ、だっだめ…もぉ搾るなっ、ヒトを家畜扱い…するなぁっ!!」

勝手に肉体を改造されるおぞましさと屈辱に身震いしつつ四肢を暴れさせるものの、機械は絶対的なパワーでそれをねじ伏せひたすらルナの柔乳を搾り敏感な乳粘膜を吸い上げて、充血しきった乳豆を引っ張り苛め抜く。

ちゅっ、ちゅうっ、ちゅうちゅうぅぅぅ――っっ!!

「ああっ、まっまたぁぁっ!!」

ぶしゅっ!! ぷしぃぃぃっっ!!

決死の抵抗虚しく、二度目の乳絶頂はすぐにやってきた。左右の乳房がジンジンと痺れ燃え盛る淫熱に蕩けそうになりながら、最初をはるかに上回る量の母乳が勢いよく噴出する。ミルクが乳腺を駆け上る瞬間、頭の中が真っ白になるほどの喜悦が突き抜け、心臓が止まりそうなほどの法悦に意識まで飛びそうになる。

（むっ、胸っ…おっぱいを吸われてるだけ、なのにっ…なんでっ、なんでこんなに気持ちいいのよぉっ!?）

びゅるっ！ びゅびゅっ、びゅるるぅぅ――っっ!!

生徒会厄払執行委員 支倉栞　表紙イラスト
[2014年12月]

神聖騎士オリアナ　淫魔の牢獄　表紙イラスト
[2011年9月]

二次元ドリームマガジンVol.61　カラー小説イラスト
[2011年10月]

妹とラブる！　表紙イラスト
[2012年7月]

「兄さん、お疲れのところかと思いますが……わ、わたしも、そろそろぉ……」
「ん……うわ、グチョグチョだな……いいよ、おいで」
手を回して内股を弄ると、粘っこい透明の滴が淫唇を濡れそぼたせ、指先で触れるだけでも甲高い水音を響かせていた。彼女の太ももで硬くなったペニスは、愛液に触れてすぐさま完全に勃起し、添えられた妹の手の平に跳ね当たる。
「っ♥　では、失礼します、兄さん……んぁっ、あふっ……んぅぅ〜〜〜〜っっ♥」
承諾を得た妹は姉を支えるように彼女に抱きついて、僅かに腰を浮かせると、先端を膣口に擦りつけた。その瞬間、グパァァァッと淫液の糸を引いて淫壺が開き、啜り上げるようにスムーズに、けれどねちっこく粘膜を絡めながら、肉棒を飲み込んでゆく。
「あひゅっ、ひゃんっっ♥　んぁっ、あはぁぁぁ……す、すごい、れしゅ、にいひゃ……あんっっ♥　兄さんの、せいえきぃ、ドロドロのが……ねえしゃんの、あちゅさと、一緒になってぇ……んっくっ、あっ、すごっ、すごいぃぃんっっ♥」
精液だけではなく、雪花の腸液まで絡んだペニスを深々と咥え込んで、感極まったように背を反らせて震える月花。大好きな兄と姉の感触を同時に膣肉で味わい、それだけで軽いアクメを覚えたように声を上擦らせて、腰を何度もくねらせて喘いでいた。

メロンブックス特典リーフレット用イラスト
[2012年7月]

もっと!妹とラブる!! 口絵イラスト
[2014年7月]

「きへぇえええぇぇっっ♥　きへっ、らひてっっ、びゅーびゅーちょうらぁぁぁいっ！」

蕩けた声が迸った瞬間、肉壺がグニュグニュと蠢いて肉棒を扱き、愛らしい色を残す菊穴が思いきり引き締められた。根元から先端までを揉みしだかれ、亀頭に吸いついた腸襞がズルズルと裏筋を這い、尿道の奥に込み上げる精液を啜り上げてゆく。

「くっっ、おっっ……おおぉぉぉぉっっ！」

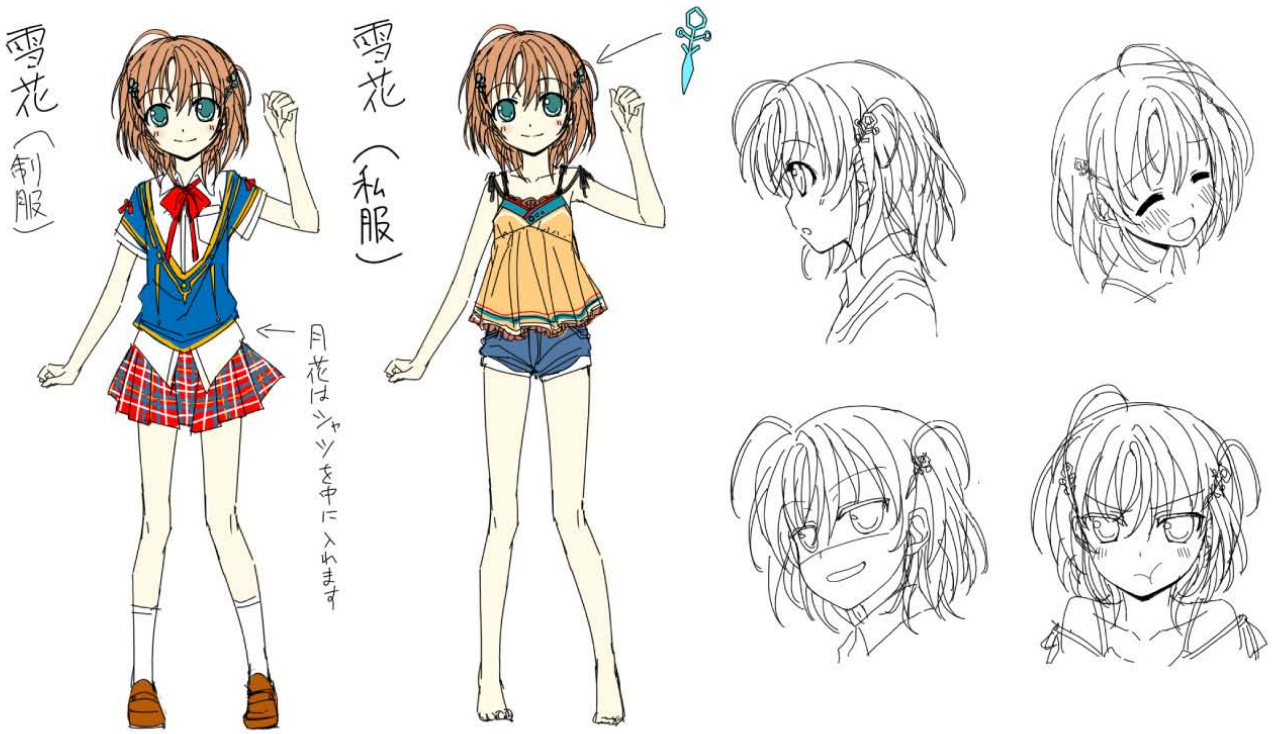
背筋が震えると同時、自然と腰が前に押し上げられた――というよりは、雪花のアナルに引っ張られたような感覚が迸った。最奥をさらにこじ開け、根元までピッタリと菊壺に埋めた肉棒が、括約筋を弛緩させるや快感の波に包まれる。

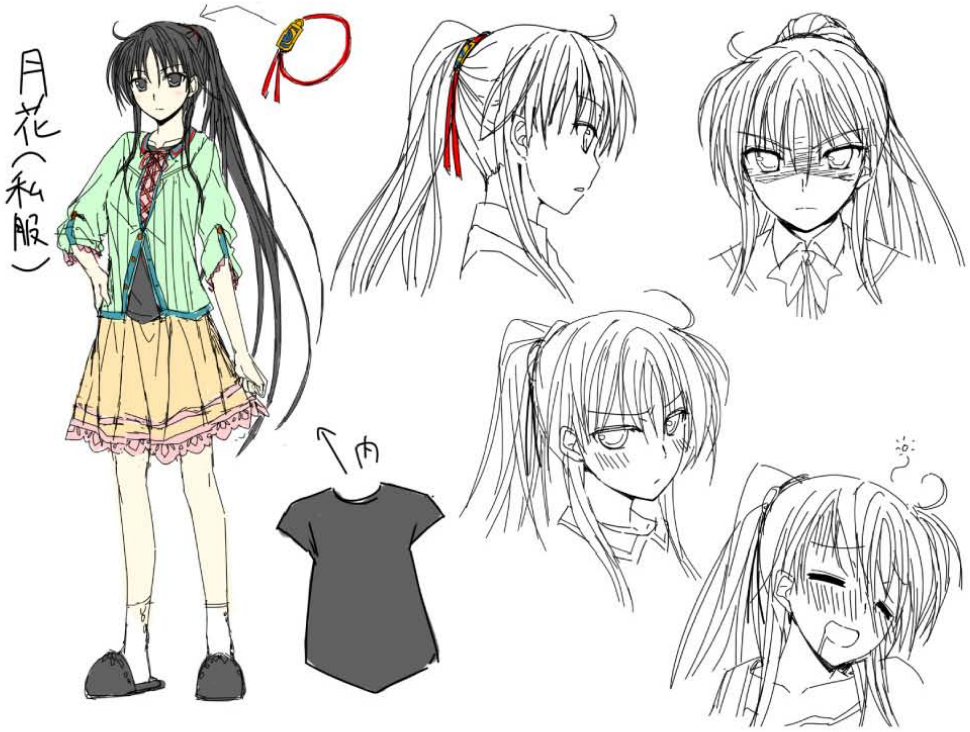
「んっあぁぁぁぁっっっ！　まはっ、ふくらみゅっっ、おにっ、ひゃんのぉぉっ♥」

尿道を込み上げる精液に圧迫され、肉棒がさらに大きく膨れ上がる。その感覚に肉壺を擦られた雪花は嬌声を上げて背筋をピンと伸ばし、お尻を背後に突きだし――肉棒を自ら奥まで迎え入れて、絶頂の喘ぎを叫び放った。

「んくぃぃぃぃっ、ひはっっ、いひあぁぁぁぁっっ！　らめぇぇっっっ、おひりにしぇーえきぃぃっ、いぐっっ、いぐぃぐぃぐぅぅっ、イクぅぅぅんっっっ♥」

――ビュクルゥゥッッッ、ドプドプドプッッッ、ドビュルゥゥゥッッッ！　ビュクビクッッ、ドビュルゥゥ〜〜〜〜〜ッッッ！　ビクッ、ドプッッッ、トプトプッッッ！


雪花（制服）
月花はシャツを中に入れます
雪花（私服）


月花（私服）
↑内

お嬢さまはペロちゅーLOVE！　表紙イラスト
[2012年12月]

「んんぅぅぅっ、んぅむっ、ふみゅぅぅぅ……んっ、くふぅぅんっっ……」

自分だけイカせて、こっちがイッてないのはずるい――とでも言いたげに、有菜がうっすらと瞳を開いて抗議してくる。ズボンの生地に浮き上がる尻肉で修司の勃起を擦るのは、こちらの射精を促す彼女のささやかな抵抗ということらしい。

そんな彼女の、数日ぶりに感じる積極性に感動すら覚えながら、夢中で舌を伸ばして彼女の口腔を啜り上げる。甘い唾液の奔流の味も、なぜかすごく懐かしく感じられた。舌ごと唾液を吸い上げ、ズチュッ、ズチュチュッと水音を響かせるたびに、音で耳を愛撫されているかのように、有菜がビクンッと肩を跳ねさせて悶えてみせる。

「はむちゅぅぅぅっ……んじゅるっ、じゅるるぅぅっ、ずちゅっ、ぐちゅぅぅ……んんっ、ふっ……んぐぅぅっ、はぁむっ、あむぅぅっ……じゅろっ、れろぉぉ……」

それでも、彼女の唇の動きはまるで衰えず、むしろもっとしてくださいとおねだりするような動きで舌を吸い、唇が食まれてゆく。互いの口を甘く噛み合いながら、修司は有菜のズボンの後ろに手をかけ、緩んだそれを勢いよく下ろした。

「んぅぅぅ〜〜っ、はふっ、ひゃうっ……んっ、あっ、くふぅんっ……」

「……ん……むぅっ!?」
勃起を膣肉で包んでいた涼香は、その変化をダイレクトに感じ取った。怯えたような少女の視線が、牡の嗜虐に火を点ける。佑弥は衝動的に身体を起こすと、彼女の右脚を胸に抱え込んだ。
「涼香さん……涼香さんっ！」
「きゃあぁぁっ！　こんな格好……ふぁあッ!?　な、なにこれ……へ、変なところにおちぃちぃ当たって……は……はっ……はぃいぃぃあぁぁぁぁンッ！」
初めての体位に、涼香がお腹をうねらせ泣き悶える。今までとは違う膣内の場所でカリを擦られ、ペニスも新鮮な快感に身震いする。膣肉を巻き取るように勃起を抉り込ませ、パンパンと腰がぶつかる卑猥な音に酔い痴れる。
「き、気持ちいい……涼香さんの中、気持ちいい……！」
「あ……あンッ、ふぁ……！　佑弥、くんのっ、おちぃちぃ……おま○こ擦って……もっと、擦って、おま○こ……ひぃあぁぁぁぁン！」
愛らしい声が、恥ずかしげもなく隠語を叫ぶ。開いた脚でスカートは裏返り、ブレザーもブラウスも全開、ずれたブラから零れる乳房も肉棒の抽送で重そうに揺れる。自分のペニスで啼く声は、間違いなく涼香のもの。なのに、乱れた衣服が佑弥を混乱させる。

この続きは製品版をご購入の上、
お楽しみください。

編集・発行
株式会社キルタイムコミュニケーション
〒104-0041　東京都中央区新富1-3-7ヨドコウビル
TEL03-3555-3431（販売）／FAX03-3551-1208

※本作品の全部あるいは一部を無断で複製・転載・配信・送信したり、ホームページ上に転載することを禁止します。本作品の内容を無断で改変、改さん等行うことも禁止します。また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。
©KILL TIME COMMUNICATION　Printed in Japan

http://ktcom.jp/